

## 第11回 Dlife 番組審議会 議事概要

■開催日：平成26年10月20日（月）

■開催場所：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 会議室

■Dlife 番組審議会委員（平成26年4月21日現在）

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21\_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学 芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（オリコン・エンタテインメント株式会社 取締役兼『オリ★スタ』編集長）

四方田浩一（元 株式会社キネマ旬報 DD 取締役 劇場運営事業部長）

※あいうえお順、敬称略

■出席した委員（敬称略）

齊藤裕人（日本大学 芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（オリコン・エンタテインメント株式会社 取締役兼『オリ★スタ』編集長）

四方田浩一（元 株式会社キネマ旬報 DD 取締役 劇場運営事業部長）

■議題

- ・放送種別について（平成24年4月～9月分）
- ・「日本民間放送連盟（民放連）」放送基準一部改訂に伴う、当社の放送基準一部改訂について
- ・10月 番組改編について
- ・無料動画配信サービス「Dlife APP」についての説明
- ・カスタマーセンター状況報告（平成24年7月～9月分）
- ・番組審議（作品紹介とディスカッション）

< 審査番組 >

- ・「スキャンダル シーズン1」第1話 日本語吹替版
- ・「よみがえり ～レザレクション～」第1話 日本語吹替版
- ・「ボンダイビーチ動物病院」第1話 字幕版

## ■議事概要

○番組放送種別について平成26年4月～平成26年9月分まで6カ月間の各第3週目の実績を説明し、承認された。

※詳細は、ホームページ上に公開。

○「日本民間放送連盟（民放連）」放送基準一部改訂に伴い、当社の放送基準一部改訂となった経緯と変更点について説明を行い承認された。

○平成24年4月～9月分の間、カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況の報告。

・入電者の男女比率、年齢層、視聴者からの問い合わせや要望について報告し、確認された。

○今後開始予定の、スマートフォンを使った無料動画配信サービス「Dlife APP」について説明を行った。

○10月改編のポイントを番組宣伝映像を交えながら説明を行った。

—10月より土曜日に新作ドラマの放送を集中し、枠を『サタデーナイト・ドラマ』と名付け、視聴者への浸透を図り編成を強化「スキャンダル」、「ワンス・アポン・ア・タイム」「アンダー・ザ・ドーム シーズン2」他、話題の海外ドラマシリーズの放送を開始した。

—平日14:00～16:00の韓国ドラマ放送時間帯に、日本初放送となるラインナップを投入し強化した。

○委員からは次のような質問、意見・感想が述べられた。

—4月から9月の放送種別について

・今後の目標、通販枠の考え方について質問があり、今後は番組宣伝よりも一般広告を増やすことを目標とすること、また通販広告はBS他局に比べ放送時間が少なくなっている現状を説明し理解された。

—無料動画配信サービス「Dlife APP」について

・今後立ち上げを予定しているスマートフォン・アプリを使った無料見逃し配信サービスについて、視聴環境、システム、広告収入の目標、宣伝計画について質問があり、各項目について回答し、理解された。

—番組審議について

・「スキャンダル シーズン1」第1話について

女性の共感を呼ぶような主人公の活躍と心理描写、人種の壁を超えた恋愛設定、劇中のファッション、楽曲などの演出にも見所があり、かつ先の展開が気になるアメリカ・ドラマらしさを感じられ、安心して見られる良く出来た上質なドラマであるという意見が多数寄せられた。

また、日本語吹替え版のエンディング・テーマ曲の宣伝タイアップについて質問があり、ターゲットとなる女性層に幅広く訴求することを狙った楽曲プロモーションであることを説明し、理解された。

・「よみがえり ～レザレクション～」第1話について

数十年前に亡くなったわが子が突然目の前に蘇ったことへの両親のリアクションに感動を覚え、母親と父親の反応の違いにも関心を持つような作品である。役者の演技にも惹きこまれ感動を覚えるような

質の高い作品であるとの意見が多数寄せられた。また、日本語吹替え版のエンディング・テーマ曲の GLAY の楽曲宣伝タイアップについて、ターゲットを意識した訴求力の高いアーティストの起用であると好評価を受けた。

・「ボンダイビーチ動物病院」第1話 について

家族で楽しめる良質な番組であり、出演者のオーストラリア実在の獣医に、容姿を含め好感が持てるとの高評価を受けた。字幕の翻訳について、手術の実施説明場面で、原語では医療従事者としてリスクを含んだ説明をしている箇所の日本語字幕が、獣医の希望的意見と受け止められるような訳となっているので、配慮が必要であるとの指摘があり、今後の制作の参考とすることになった。

以上